

50th Anniversary

創立50周年記念誌

生きがい

P U R P O S E I N L I F E



公益社団法人 姫路市シルバー人材センター

50th
Anniversary

創立50周年記念誌

生きがい

P U R P O S E I N L I F E



公益社団法人 姫路市シルバー人材センター

公益社団法人 姫路市シルバー人材センター 創立50周年記念誌



目次 CONTENTS

挨拶	公益社団法人 姫路市シルバー人材センター 理事長 高島 隆三郎	04
祝辞	姫路市長 清元 秀泰	05
	姫路市議会議長 石堂 大輔	06
	公益社団法人 兵庫県シルバー人材センター協会 会長 岩田 強	07
記念式典	記念式典・講演	08
	姫路シルバーまつり	10
歴史	創立～50周年	12
メッセージ	発注者からのメッセージ	22
	会員の声	26
各種取組	各種講習会	29
	各種事業	33
資料	事業実績の推移	39
	会員数・契約件数の推移	40
	契約金額の推移・全国シルバー会員数ランキング	41
	歴代役員	42
編集後記	姫路市の歴史・編集後記	52

市木

カシの木
昭和47年10月5日制定



市花

さぎそう
昭和41年8月18日制定



市鳥

シラサギ
平成元年4月1日制定



市蝶

ジャコウアゲハ
平成元年4月1日制定



挨拶



公益社団法人
姫路市シルバー人材センター
理事長
高島隆三郎

創立50周年を迎えて

姫路市シルバー人材センターは、1975年（昭和50年）に「財団法人姫路市高齢者働くしあわせの会」として全国で4番目に設立されました。全国に先駆け設立されたということは、如何に姫路市が高齢化社会を迎えることをいち早く感じ取り高齢者が生き生きと働く場を提供し、生きがいを持って生活できるようにという思いを強くしていたかの表れであります。昭和59年には、より会員を基本とするために財団法人から改組し社団法人姫路市シルバー人材センターとなりました。令和6年度末現在、会員数2,089人、契約金額13億3千2百万円という県内でも有数の規模で推移しております。これも、発注者の皆様のご支援と各会員が日々努力を重ねられた結果であります。改めて心から深く感謝申し上げます。

シルバー人材センターは会員が財産であり、いつの時代であっても会員増強が常に求められております。当センターは長年会員が減少傾向にありましたが、昨年度は兵庫県で最も会員が増加したセンターとなりました。全国的に減少傾向にある中で、今年度も引き続き増加傾向であり、創立50年の節目に増加に転じたことは何にも増して嬉しく思っております。これも役職員が積極的に普及活動に努めたことに加えて、「自主・自立、共働・共助」の理念に立ち返って、会員が自らやってみたいことにチャレンジできる機会を作ったことも功を奏する結果となりました。

一つはパソコン相談事業でもう一つは傾聴事業です。パソコンの相談事業は専門店の店員さんの専門用語の説明にアレルギーを感じる方々に対しても分かりやすく説明してもらえると喜んでいただいておりますし、傾聴事業でも深刻な悩みではない悩み事を気兼ねなく聞いてもらえるという声を聞くなど、社会ニーズにマッチした事業として育ってきています。もちろん従来からの草刈、剪定、清掃といった仕事も継続し、それに加えて事業所や子育て中の家庭や高齢者の家庭における支援においても、高齢者に相応しい様々な仕事を可能な日程で提供しております。

近年、シルバー人材センターには所謂ホワイトカラーという事務職、技術職を経験された方の入会者が増える傾向にあります。人口減少傾向の中で、高齢者の就労を支援する社会インフラとして、シルバー人材センターは欠かせない存在になっております。同時に健康的な老後を過ごすことで、医療福祉予算の低減にも大いに貢献しています。昭和63年から姫路市シルバー人材センターが独自事業として行っております姫路城の観光ガイドも、37年の長きにわたり、姫路市の観光行政に貢献をして参りました。さらに利用しやすくするようガイド事業全般のデジタル化を進めております。

姫路市シルバー人材センターは時代のニーズをとらえながら、全国に先駆けた新しい事業にも積極的にチャレンジしながら次の60周年、70周年、100周年に向けて進化を続けてまいります。

祝辞



姫路市長
清元
秀泰

創立50周年を祝して

公益社団法人姫路市シルバー人材センターが創立50周年を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

貴センターは昭和50年12月、「財団法人姫路市高年者働くしあわせの会」として設立以来、50年の長きにわたり、会員の皆さまの就業先の確保をはじめ、福祉・家事援助及び子育て支援などに意欲的に取り組んでこられ、近年では、傾聴、パソコン・スマホの訪問指導、空き家の外観チェックなどの新たなサービスも始められるなど、高齢者が働くことを通じて生きがいを得るとともに、地域社会の活性化と生涯現役社会の実現に貢献されるなど大きな成果を上げてこられました。

また、日本初の世界文化遺産であり、不戦の城としても知られる国宝・姫路城におきましては、会員の皆さまには、清掃や除草作業のほか、国内外からお越しいただく観光客にその歴史や魅力を親切・丁寧にご案内いただく姫路城シルバー観光ガイドとしてもご活躍いただいております、姫路の観光振興の一翼も担っていただいておりますこと、心から御礼を申し上げます。

この長年にわたる取組の結果、令和6年度末の会員数が2,089人と、15年ぶりに増加に転じたほか、年間契約金額は13億円を超えるという、全国のシルバー人材センターの中でもトップクラスの契約実績を上げられ、姫路の地にしっかりと根差した組織として、頑強な基盤を築いております。

これもひとえに、高島理事長をはじめ役員の皆さま、並びに会員の皆さまのたゆまぬご努力のたまものと、深く敬意を表します。

人生100年時代と言われる中で、市民の皆さまお一人おひとりが、元気で輝きながら活躍できるよう、今後とも、「人をたいせつにし、人に寄り添う市政」を進めるとともに、「ふるさと・ひめじ」がいつまでもにぎわいと活気に満ちたまちであり続けられるよう、市政を全力で推進してまいりますので、会員の皆さまにおかれましては一層のご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。

姫路市シルバー人材センターの今後ますますのご発展と会員の皆さまのご健勝、ご多幸を心から祈念しまして、お祝いの言葉といたします。

祝辞

姫路市議会議員
石堂 大輔

創立50周年を祝して

公益社団法人姫路市シルバー人材センターが創立50周年という誠に輝かしい節目を迎えられましたことを、心よりお慶び申し上げます。高島理事長をはじめ、歴代の理事長並びに関係者の皆様が長年にわたり積み重ねてこられたご尽力に深甚なる敬意と感謝を表します。また、地域社会を支え続けてこられたすべての会員の皆様に、衷心より敬意を表します。

昭和50年の創立以来、貴センターは地域に根ざし、多様化する社会のニーズに応えながら確かな歴史を築いてこられました。会員の皆様が経験と技能を活かして就業の機会を得ておられることは、高齢者の社会参加と生きがいの創出にとどまらず、人と人との信頼を育み、地域に活力をもたらしめています。その存在は、安心して暮らせる地域社会の礎として欠かすことのできないものです。

半世紀にわたり地域社会に貢献し、今なお歩みを続けておられる貴センターの姿は、中国の歴史書『後漢書』に記された「老いて当にますます壮なるべし」の精神を体現していると言えるでしょう。年齢を重ねるほどに志を高く持ち、気力と精力を充実させながら社会の中で役割を果たし続ける——その在り方は、知識と経験を生かし責任と誇りをもって地域を支えておられる会員の皆様のお姿と重なり、多くの人々に勇気と希望を与えています。

人生100年時代を迎え、誰もが生涯にわたり役割を持ち、自分らしく活躍できる社会の実現が求められています。その中であって、貴センターの役割は今後ますます重要になるものと確信しております。

姫路市議会といたしましても、このまちで暮らすすべての方が健康で充実した日々を送り、人生に喜びと誇りを見出せる社会の実現に向け、全力で取り組んでまいります。今後とも、より良い地域づくりのため、変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、栄えある50周年に心から祝意を表しますとともに、公益社団法人姫路市シルバー人材センターのさらなるご発展と、会員並びに関係者の皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。

祝辞



公益社団法人
兵庫県シルバー人材センター協会 会長
岩田 強

設立50周年を祝して

公益社団法人姫路市シルバー人材センターが、設立50周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

姫路市シルバー人材センターは、昭和50年12月、全国で4番目、兵庫県内で2番目に設立されました。過ぐる50年は、社会経済の激変の中で、シルバー事業にも適切かつ柔軟な対応が求められてまいりました。この間、歴代の役職員の皆様はじめ、会員の皆様のたゆまぬご努力により、組織の充実と事業の拡大を図られ、地域の中で安定した存立基盤を確立され、「自主・自立、共働・共助」の理念のもと、地域に密着した高齢者の自立的組織として、逐次、発展を遂げてこられました。

また、他の範となる優れた企画力による、様々な事業を実施してこられました。とりわけ、世界文化遺産・姫路城の観光ガイド事業は、国内外の大勢の方々に利用されています。シルバー事業の大きな目的である「地域振興」そのものであり、極めて高い評価を禁じ得ません。

今後のシルバー人材センターは、団塊の世代をはじめ高齢者の多種多様な働き方に対応するために、就業機会の確保、拡大を推進するとともに、内外からの皆様にシルバー事業を理解していただくため、より魅力のあるセンターづくりを進めていく必要があります。

姫路市シルバー人材センターは、これまでも、今後も、兵庫県内はもとより、全国のシルバー人材センターのリーダーに変わりありません。

設立50周年を契機として、高齢者の生きがいの充実と、地域に愛され、地域とともに歩むセンターとして、更に発展されますことをお祈り申し上げます。



公益社団法人 姫路市シルバー人材センター 創立50周年記念式典

令和7年11月16日 アクリエひめじ 中ホール

〔記念式典〕

- 1 主催者挨拶 公益社団法人姫路市シルバー人材センター理事長 高島 隆三郎
- 2 御来賓祝辞 姫路市副市長 岡本 裕 様
姫路市議会経済観光委員会委員長 有馬 剛朗 様
公益社団法人兵庫県シルバー人材センター協会会長 岩田 強 様
- 3 記念表彰

【事業所感謝状（32社）】（50音順）

アース環境サービス株式会社	有限会社ウィルエステート	大阪豆陽金属工業株式会社
株式会社KAJIWARA	株式会社銀ビルストアー	虹技株式会社
社会福祉法人ささゆり会	山陽アメニティサービス株式会社	山陽色素株式会社
JR西日本レンタカー&リース株式会社	JA全農Aコープ株式会社	飾磨交通株式会社
株式会社 Japan Flower Trading	滲透工業姫路株式会社	千代田金属工業株式会社
蔦機械金属株式会社	宗教法人東光寺	東洋事務器工業株式会社
日本化薬株式会社	日本メンテナンスエンジニアリング株式会社	株式会社原田工務店
日高食品工業株式会社	一般財団法人姫路市まちづくり振興機構	姫路獨協大学
姫路灘菊酒造株式会社	株式会社姫路ポートセンター	一般財団法人兵庫県競馬施設利用協会
兵庫縣姫路護國神社	平野石油株式会社	株式会社賢角ギヤー
マエカワテイスト株式会社	株式会社ユシロ	

【永年会員表彰（45名）】（敬称略、50音順）

足立 篤靖	池尻 朝子	石山 悦子	一宮 悦子	伊藤 正夫	上田 順道
牛尾 照子	梅津 幸	大常 高則	岡本聖代子	小川 武義	掛水 末芳
加藤 照和	河股 悦男	北川 節子	桐村 晃	黒岩 道博	黒田 俊介
肥塚 孝	笹山 利行	柴垣 英子	柴田健太郎	柴田 正和	清水久仁代
竹内 学春	田淵 一松	樽本美代子	田路 久男	中村 一利	中村 昭
野田 稔	福井 彰子	福永 国雄	藤木千恵子	藤木 正雄	藤原 克子
正城 静男	松本 輝雄	八代醒 明	柳本 恵美	山家美代子	山川 春子
山中 啓和	山中真由美	吉見 敦子			

〔記念講演会〕

講師 池谷 裕二 氏（東京大学薬学部教授）
演題 「脳を知って脳を活かす」





第12回

姫路 シルバーまつり

創立50周年記念

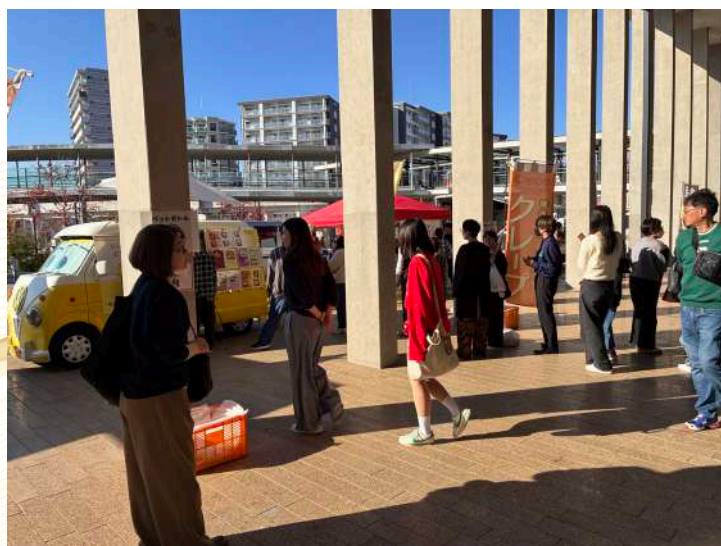
キッズコーナー



販売コーナー



キッチンカー





バルーンコーナー

傾聴体験



パソコン・スマホ相談コーナー



占いコーナー



会員マーケット



創立 ～10周年

昭和50年(1975)～
昭和60年(1985)



戦後の医療技術の進歩や公衆衛生の向上により、我が国は昭和45年には65歳以上人口が総人口の7%を超える「高齢化社会」に突入し、定年後の高齢者の生きがいづくりや地域社会への参加が社会の課題となりました。

このような社会的ニーズに対応し、高齢者が持つ豊かな経験や能力を働くことを通じて発揮し、積極的に社会に参加することにより生きがいの増進を図ることを目的に、昭和50年に「財団法人姫路市高齢者働くしあわせの会」がスタート、その後「シルバー人材センター」への名称変更と社団法人への組織変更を行い、昭和56年には事務所を新設された自治福祉会館4階へ移転しました。

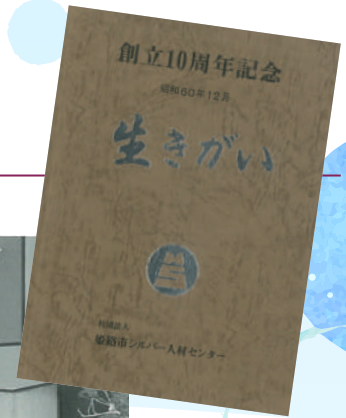
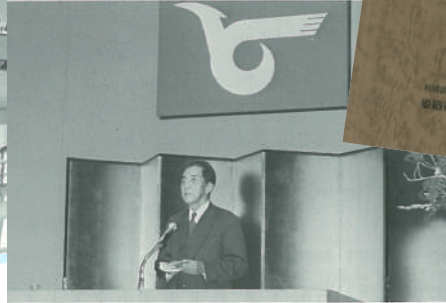
会員の増強や技術の向上で組織の充実を図るとともに、センターを積極的にPRするなど事業拡大に向けた努力を重ねた結果、創立10周年を迎える頃には契約金額が1億円を超え、会員にとって嬉しい成果となりました。



姫路市シルバー人材センターの歩み

- 昭和50年(1975) 「財団法人姫路市高齢者働くしあわせの会」設立(12月)
事務所を旧市役所の一室に置く(12月)
初代理事長に山名友雄氏就任(12月)
- 昭和51年(1976) 事務所を旧福祉会館へ移転(4月)
姫路市高齢者協会「働くしあわせの会」設立総会を市民会館で開催(5月)
- 昭和52年(1977) 労災保険に加入(4月)
会員の技能向上のための職群班別の研修会スタート(4月)
- 昭和53年(1978) 第2代理事長に三根毅氏就任(5月)
会報「しるばあ」創刊(5月)
「高齢者働くしあわせ教室」を開催(5月)
- 昭和54年(1979) 財団のPRに積極的に取り組む(9月)
就業拡大に向け事業所や官公庁へ働きかける(9月)

- 昭和55年(1980) 「創立5周年記念式典」を市民会館で開催(11月)
「財団法人姫路市高齢者働くしあわせの会シルバー人材センター」に改称(11月)
全国高齢者事業団・シルバー人材センター等連絡協議会に加入(12月)
- 昭和56年(1981) 兵庫県シルバー人材センター連絡協議会に加入(1月)
事務所を新設の自治福祉会館4階へ移転(9月)
- 昭和57年(1982) 社団法人全国シルバー人材センター協議会に加入(4月)
- 昭和58年(1983) 近畿シルバー人材センター連絡協議会に加入(2月)
第3代理事長に佐々木俊夫氏就任(8月)



- 昭和59年 (1984)** 財団法人から社団法人に組織変更し「社団法人姫路市シルバー人材センター」を設立 (3月)
- 第4代理事長に龍田市太郎氏就任 (3月)
- 自主事業として「自転車リサイクル」を開始 (10月)
- 昭和60年 (1985)** 年間契約金額が1億円を超える(3月)
- 就業についての希望やニーズ把握のため、会員及び主要事業所にアンケート調査 (6月)
- 「創立10周年記念式典」を文化センターで開催 (11月)

世の中の出来事

- 昭和50年(1975)** 三億円事件の時効成立 (12月)
- 昭和51年(1976)** ロッキード事件で田中角栄前首相逮捕(7月)
- 昭和52年(1977)** 王貞治選手が通算ホームラン世界記録756号を達成(9月)
- 昭和53年(1978)** 新東京国際空港(成田国際空港)が開港(5月)
- タイトーが「スペースインベーダー」を発表(6月)
- 日中平和友好条約調印 (8月)
- 昭和54年(1979)** 三菱銀行北畠支店で人質立て籠もり事件(1月)
- ソニーが「ウォークマン」を発売(7月)
- 昭和55年(1980)** イラン・イラク戦争勃発 (9月)
- 昭和56年(1981)** 神戸ポートピア博覧会が開催 (3月~9月)
- 昭和57年(1982)** 東京赤坂のホテルニュージャパンで火災(2月)
- 日航機が羽田沖に墜落 (2月)
- フォークランド紛争勃発 (4月)
- 昭和58年(1983)** 東京ディズニーランドが開園 (4月)
- 任天堂が「ファミコン」を発売 (7月)
- 昭和59年(1984)** グリコ・森永事件 (3月)
- 昭和60年(1985)** 日航ジャンボ機が御巣鷹山に墜落(8月)
- G5 がプラザ合意 (9月)

11 ~20周年

昭和61年(1986)～
平成7年(1995)



創立10周年を迎えた頃から、就業機会の開拓と拡大、会員の増強に重点を置いた事業運営を行ってきました。特に自主事業では、「自転車リサイクル事業」に加えて、新たに「姫路城観光ガイド事業」と「ふれあい農園事業」を開始し、マスコミにも大きく取り上げられるようになりました。また、植木剪定、筆耕、襖・障子の張り替え、家庭看護技術などの各種講習会や料理教室を開き、人材育成にも取り組んできました。

さらに、魅力ある組織づくりに向け会員相互の交流を図るため「会員親睦会」が発足、「隠し芸フェア」や「歌謡大会」、「ふれあい作品展」が実施されるなど、内容的にも充実した10年間となりました。

センターが積極的なPR活動を続けてきた結果、平成6年には会員数が1,600人、年間契約金額が5億円を超えるなど、事業運営は順調に推移していきました。



姫路市シルバー人材センターの歩み

- 昭和61年(1986)
 - 会員親睦会が発足(5月)
 - 内職的作業として電気部品の加工に着手(5月)
 - 市から一部の公園の年間管理を委託される(5月)
 - シルバー人材センターが「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」で法制化される(10月)
 - 会報「しるばあ」が年2回発行に(10月)
- 昭和62年(1987)
 - 襖・障子の張り替え事業を開始(4月)
- 昭和63年(1988)
 - 自主事業として「姫路城観光ガイド事業」がスタート(11月)
 - 甲府市・箕面市のシルバー人材センターを視察研修(11月)
- 平成元年(1989)
 - 「姫路シロトピア博」で清掃ボランティアの奉仕団として参加(3月)
 - 「会員増強推進委員会」を設置(目標1,200名)(4月)

- ワークプロ技能研修スタート(8月)
 - 「秋の清掃ボランティア」開始(8月)
 - 「会員だより」を月1回発行(8月)
- 平成2年(1990)
 - 「カラオケ同好会」発足(4月)
 - 「シルバー隠し芸フェア」開催(5月)
 - 自主事業として網干に「シルバーふれあい農園」を開設、花づくり事業スタート(7月)
 - 「みんなで歩くテクテクまつり」開始(10月)
- 平成3年(1991)
 - 「会員歌謡大会」を実施(5月)
 - 大塩地区に「いちご園」開設(9月)
 - 「会員健康の日」を年間行事の一つに(12月)
- 平成4年(1992)
 - 好古園内の清掃を委託される(4月)
 - 家事援助サービスの拡大に取り組む(10月)
 - 好古園ガイド研修を実施(11月)



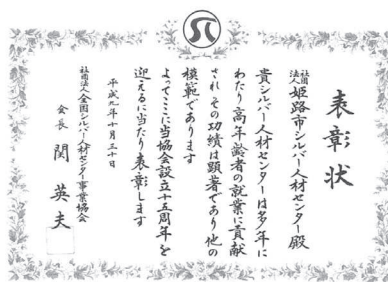
- 平成5年 (1993) 第5代理事長に小原直作氏就任(5月)
- 「姫路市シルバー人材センターの歌」誕生 (5月)
- 「就業開拓員」を配置 (5月)
- 「安全就業委員会」を設置 (6月)
- 平成6年 (1994) 会報「しるばあ」刷新 (8月)
- 平成7年 (1995) 第1回「ふれあい作品展」を開催(2月)
- 年間契約金額が5億円を超える(3月)
- 「歩こう会」「囲碁・将棋同好会」のサークル誕生 (7月)
- 「創立20周年記念式典」を市民会館で開催 (11月)

世の中の出来事

- 昭和61年(1986) バブル景気が始まる (12月)
- 昭和62年(1987) 国鉄分割・民営化、JR 7社が発足 (4月)
- ブラックマンデー(NY株価大暴落)(10月)
- 昭和63年(1988) 青函トンネルが開通 (3月)
- リクルート事件 (6月)
- 平成元年 (1989) 昭和天皇崩御・「平成」に改元 (1月)
- 消費税導入 (3%) (4月)
- 「ベルリンの壁」崩壊 (11月)
- 平成2年 (1990) 株価暴落始まる (バブル崩壊の始まり) (1月)
- 平成3年 (1991) 雲仙・普賢岳で大規模火砕流が発生 (6月)
- バブル崩壊 (1990 ~ 1991)
- 平成4年 (1992) 国家公務員の完全週休2日制実施(5月)
- 平成5年 (1993) サッカー「Jリーグ」が開幕 (5月)
- 欧州連合 (EU) 発足 (11月)
- 姫路城が世界文化遺産に登録 (12月)
- 平成6年 (1994) 関西国際空港が開港 (9月)
- 平成7年 (1995) 阪神・淡路大震災 (1月)
- 地下鉄サリン事件 (3月)

21 ~30周年

平成8年(1996)～
平成17年(2005)



バブル崩壊後の景気が低迷する中、姫路市のまちづくりの指針「総合計画」の目標の一つ「安心して豊かに暮らせる社会の実現」において、「シルバー人材センターの育成と充実」が具体的施策として掲げられるなど、センターの重要性が再認識されました。平成10年度末には全国796センターのうち、会員数が第3位、契約実績では受注件数が第8位、契約金額が第11位になり、全国的にも活力あるセンターとして注目されるようになりました。

平成14年度には、契約金額が10億円の大台を突破し、創立時からの念願であった目標をクリアすることができ、30周年を迎えた平成17年度には、会員数は3,200人を超え、契約金額も12億円を超えました。第1次ベビーブーマーである「団塊の世代」の定年が数年後に迫る中、会員的大幅増に対応できるよう事務系の職種や専門職の拡充を図っていきました。

姫路市シルバー人材センターの歩み

- 平成8年(1996) 第2回「ふれあい作品展」を開催(2月)
被災高齢者生きがい就労事業を実施(4月)
「手芸同好会」発足(10月)
- 平成9年(1997) 第3回「ふれあい作品展」を開催(2月)
「社交ダンス同好会」発足(4月)
第6代理事長に岡田兼之氏就任(5月)
全シ協から「優良センター表彰」を受賞(10月)
- 平成10年(1998) 第4回「ふれあい作品展」を開催(2月)
兵シ協による「シニアワークプログラム事業」を実施(4月)
介護講習会を開催(11月)
「ワークルーム縫製事業」を閉鎖(12月)

- 平成11年(1999) 第5回「ふれあい作品展」を開催(2月)
会員数が3,000人を超え全国第3位にランキングされる(3月)
- 平成12年(2000) 第6回「ふれあい作品展」を開催(2月)
家事援助サービス講習会を開催(11月)
- 平成13年(2001) 第7回「ふれあい作品展」を開催(2月)
優良事業所訪問を開始(10月)
- 平成14年(2002) 第8回「ふれあい作品展」を開催(2月)
高齢者生活援助サービス事業を開始(4月)
- 平成15年(2003) 第9回「ふれあい作品展」を開催(2月)
会員数が3,300人を超え、契約金額が10億円を超える(3月)
岡田理事長が兵シ協会長に就任(6月)



- 就業相談日を設定 (8月)
- ひょうご就業开拓員を配置 (8月)
- 兵庫ふれあいの祭典に参加 (10月)
- 平成16年(2004) 第10回「ふれあい作品展」を開催(2月)
- 子育て支援事業を開始 (4月)
- 兵庫県広報紙「兵庫県だより」配付事業を開始 (4月)
- シルバーしごとネット開始 (9月)
- 平成17年(2005) 第11回「ふれあい作品展」を開催(2月)
- 岡田理事長が近シ協会長に就任(6月)
- 安全就業非常事態宣言 (6月)
- 好古園ガイドを有料化 (7月)
- 1市4町合併に伴うシルバー統合契約調印式 (10月)
- 「創立30周年記念式典」を文化センターで開催 (11月)

- 世の中の出來事
- 平成8年(1996) 検索サイト「Yahoo! JAPAN」サービス開始 (4月)
- 病原性大腸菌「O-157」による集団食中毒が流行 (5月~7月)
- 在ペルー日本大使公邸占拠事件(12月)
- 平成9年(1997) 消費税引き上げ (3%→5%) (4月)
- 英国が香港を中国に返還 (7月)
- 山一証券自主廃業 (11月)
- 平成10年(1998) 長野冬季五輪開催 (2月)
- Google 設立 (9月)
- 平成11年(1999) 男女共同参画社会基本法施行 (6月)
- ポルトガルがマカオを中国に返還 (12月)
- 平成12年(2000) 介護保険制度スタート (4月)
- 平成13年(2001) ユニバーサル・スタジオ・ジャパンが開園(3月)
- 米国で同時多発テロ (9月)
- 平成14年(2002) 日韓サッカーワールドカップを開催(5月~6月)
- 平成15年(2003) 地上デジタル放送スタート (12月)
- 平成16年(2004) 新潟県中越地震 (10月)
- 平成17年(2005) 愛知万博(愛・地球博)を開催(3月~9月)
- JR 福知山線で脱線事故 (4月)

31 ~40周年

平成18年(2006)～
平成27年(2015)



姫路市と周辺4町の合併に伴い、平成18年4月にシルバー人材センターも統合、新たなスタートを切りました。これに併せて電算システムを新規導入し事務の効率化を図り、ホームページも開設しました。平成19年度には就業開拓員を増員し、契約金額が17億4,000万円と過去最高を記録しました。

リーマンショックによる世界的な経済不況の中、平成21年から一般労働者派遣（シルバー派遣）事業に兵シ協姫路市事務所として取り組み、会員数が平成21年度末には過去最高の3,758人となりました。

平成24年4月にセンターが公益社団法人に移行し、社会的信用度が増すとともに事業運営にも弾みがつきました。また、同年11月、第1回「姫路シルバーまつり」を開催し、会員相互の交流を図るとともに広く市民にセンターをPRしました。

姫路市シルバー人材センターの歩み

- 平成18年 (2006)
 - 姫路市・夢前町・香寺町・安富町・家島町のセンターが統合（4月）
 - 電算システム導入・ホームページ開設(4月)
 - 「のじぎく兵庫国体」にボランティアとして協力（9月）
 - 「秋のシルバー清掃ボランティア活動」実施（11月）
- 平成19年 (2007)
 - 第13回「ふれあい作品展」開催(2月)
 - 第7代理事長に糴川恵司氏就任(5月)
 - 「秋のシルバー清掃ボランティア活動」実施(11月)
- 平成20年 (2008)
 - 第14回「ふれあい作品展」開催(2月)
 - 契約金額が17億4千万円と過去最高を記録（3月）
 - 「姫路菓子博 2008」にボランティアとして協力（4月）

- 平成21年 (2009)
 - 「秋のシルバー清掃ボランティア活動」実施（11月）
 - 兵シ協・姫路市事務所として「シルバー派遣事業」開始（1月）
 - 第15回「ふれあい作品展」開催(2月)
 - 「秋のシルバー清掃ボランティア活動」実施(11月)
- 平成22年 (2010)
 - 第16回「ふれあい作品展」開催(2月)
 - 会員数が3,758人と過去最高を記録(3月)
 - 「秋のシルバー清掃ボランティア活動」実施（11月）
- 平成23年 (2011)
 - 第17回「ふれあい作品展」開催(2月)
 - 糴川理事長が兵シ協会長に就任(6月)
 - 「秋のシルバー清掃ボランティア活動」実施（11月）
- 平成24年 (2012)
 - 第18回「ふれあい作品展」開催(2月)



- ：「社団法人」から「公益社団法人」へ移行(4月)
- ：姫路城観光ガイド養成講習会開催(10月)
- ：第1回「姫路シルバーまつり」開催(11月)
- ：「姫路城クリーン作戦」に参加(12月)
- 平成25年(2013) 第2回「姫路シルバーまつり」開催(11月)
- ：「姫路城クリーン作戦」に参加(12月)
- ：看護学生との就業体験学習(12月)
- 平成26年(2014) 第3回「姫路シルバーまつり」開催(11月)
- ：「姫路城クリーン作戦」に参加(12月)
- ：看護学生との体験学習会(12月)
- 平成27年(2015) 創立40周年記念・第4回「姫路シルバーまつり」を勤労市民会館で開催(11月)
- ：高齢者生活サポート講習会(SP事業)(12月)

世の中の出来事

- 平成18年(2006) 京都大学の山中教授らがiPS細胞の開発に成功(8月)
- 平成19年(2007) 米サブプライムローン問題で世界同時株安へ(2007～)
- ：郵政民営化(10月)
- 平成20年(2008) ふるさと納税制度スタート(5月)
- ：AppleがiPhoneを日本で発売(7月)
- ：米リーマン・ブラザーズ倒産(リーマンショック)(9月)
- 平成21年(2009) 新型インフルが世界的大流行、WHOがパンデミック宣言(6月)
- 平成22年(2010) 日航が経営破綻、会社更生法適用(1月)
- ：小惑星探査機「はやぶさ」が帰還(6月)
- 平成23年(2011) 東日本大震災(3月)
- ：地上デジタル放送へ完全移行(7月)
- 平成24年(2012) 東京スカイツリー開業(5月)
- 平成25年(2013) 日銀、異次元の金融緩和政策開始(4月)
- ：富士山が世界文化遺産に登録(6月)
- 平成26年(2014) 消費税引き上げ(5%→8%)(4月)
- ：韓国で旅客船「セウォル号」が沈没事故(4月)
- ：御嶽山が噴火(9月)
- 平成27年(2015) パリで同時多発テロ(11月)

41 ~50周年

平成28年(2016)～
令和7年(2025)



平成28年8月、自治福祉会館の建替えに伴い事務所を勤労市民会館2階へ移転しました。

令和2年頃から新型コロナが感染拡大し、緊急事態宣言下では社会的に行動が制限され、センターも契約金額が1割減少するなど大きな影響を受けました。そのような中、令和4年に会員提案型の就業機会創出事業を開始し、「パソコン及びスマホ訪問指導事業」と「傾聴事業」を新規事業として採択、会員の就業の幅を広げました。令和5年には会員の配分金明細書をデジタル（会員クラウドサービス）化し、令和6年度には会員向け「公式LINE」の開設やショッピングモールでのPR活動などの会員増強策の結果、15年振りに会員数を増加させることができました。

令和6年12月、現在の商工会議所新館3階に事務所を移転し、令和7年にはセンターが創立50周年を迎え11月に記念式典を開催しました。

姫路市シルバー人材センターの歩み

- 平成28年(2016) 事務所を勤労市民会館2階へ移転(8月)
- 第5回「姫路シルバーまつり」を開催(11月)
- 平成29年(2017) 第8代理事長に長谷川雄三氏就任(5月)
- 公用車への会員募集ポスター掲示(8月)
- 求人情報誌への広告掲載(9月)
- 第6回「姫路シルバーまつり」を開催(11月)
- 平成30年(2018) 賠償事故に係る会員の費用負担制度導入(4月)
- リビング姫路に会員募集記事を掲載(4月)
- 神姫バスに会員募集の車内広告を掲示(6月)
- 第7回「姫路シルバーまつり」を開催(11月)
- 令和元年(2019) 第9代理事長に高島隆三郎氏が就任(6月)
- 高島理事長が兵シ協会長に就任(6月)

- 第8回「姫路シルバーまつり」を開催(11月)
- 令和2年(2020) 新型コロナ感染拡大に伴い理事会を書面決議に変更(3月)
- 令和3年(2021) 夫婦会員制度導入(4月)
- 令和4年(2022) 提案型就業機会創出事業が開始(4月)
- 初の提案型就業機会創出事業「パソコン及びスマホ訪問指導事業」を採択(7月)
- 提案型就業機会創出事業「傾聴事業」を採択(11月)
- 2年振りに第9回「姫路シルバーまつり」を開催(11月)
- 令和5年(2023) 傾聴者養成講座を実施(1月～12月)
- 会員クラウドサービス（配分金明細書のweb化）を開始(9月)
- 適格請求書等保存方式(インボイス制度)開始(10月)
- 第10回「姫路シルバーまつり」を開催(11月)



- 令和6年(2024)
 - 姫路城一斉清掃ボランティアに参加(12月)
 - 会員向けスマホ相談会(会員クラウドサービスの使い方)を開催(2月)
 - ショッピングモールでのセンターPR活動を開始(9月)
 - 公式LINEを開設(10月)
 - フリーランス法施行(11月)
 - 第11回「姫路シルバーまつり」を実施(11月)
 - 事務所を商工会議所新館3階へ移転(12月)
 - 姫路城一斉清掃ボランティアに参加(12月)
- 令和7年(2025)
 - 平成21年度以来15年振りに会員数が増加(3月)
 - 創立50周年記念「第12回姫路シルバーまつり」をアクリエひめじで開催(11月)
 - 姫路城一斉清掃ボランティアに参加(12月)

世の中の出来事

- 平成28年(2016)
 - マイナンバー制度スタート(1月)
 - 熊本地震(4月)
- 平成29年(2017)
 - 九州北部豪雨(7月)
- 平成30年(2018)
 - TPP(環太平洋パートナーシップ協定)発効(12月)
- 令和元年(2019)
 - 「令和」に改元(5月)
 - ラグビーワールドカップ日本大会開催(9月~11月)
 - 消費税引き上げ(8%→10%)(10月)
- 令和2年(2020)
 - 新型コロナが世界的流行、WHOがパンデミック宣言(3月)
- 令和3年(2021)
 - 東京五輪・パラ開催(7月~9月)
- 令和4年(2022)
 - ロシアがウクライナ侵攻(2月)
 - 改正民法施行、成人年齢が18歳に(4月)
 - 安倍晋三元首相が銃撃され死亡(7月)
- 令和5年(2023)
 - 新型コロナ「5類」移行(5月)
 - イスラエル・ハマス軍事衝突(10月)
- 令和6年(2024)
 - 能登半島地震(1月)
 - 日銀、マイナス金利解除(3月)
- 令和7年(2025)
 - 大阪・関西万博が開催(4月~10月)
 - 高市早苗氏、初の女性首相に(10月)

発注者からのメッセージ



代表取締役
平瀬 広美
アスカ株式会社

姫路市シルバー人材センター創立50周年おめでとうございます。

アスカ株式会社は、訪問介護を中心に介護事業を展開する中で11年前より老人ホームの運営にも関わり、その当初から食事提供や施設共有部清掃で、シルバー会員さんに活躍してもらっています。

その当初から現在も継続して活躍中の会員さん方々には、当社の成長も見守っていただいているような安心感があります。

現在は活躍の場も3施設となって、365日朝昼夕とシフトを組んで多くのシルバー会員さんに支えて頂くこととなっています。

朝食の準備などは時間も早く冬季は暗い中での出勤になりますが会員皆さんのおかげで温かい食事を提供することが出来ているのは本当にありがたく、入居者様の何気ない安心した日常を、裏方から応援してもらっているようです。

食事の準備や片付け及び清掃は、長年積み重ねて来られた経験が役に立つシーンも多く、その担当を任せられることで、介護職員も安心して入居者様の食事介助などの身体介護に専念出来ています。

姫路市シルバー人材センター様の発展と、会員の皆さんのご活躍とご健康を心よりお祈り申し上げます。生涯現役で行きましょう！



J A全農Aコープ株式会社
やすとみ店店長
堀 伸吾

シルバー人材センター創立50周年、誠におめでとうございます。

Aコープやすとみ店は、姫路市北部の安富町に一軒しかない、地域に密着したスーパーマーケットです。

当店では、シルバー人材センターを通じて、常時数名の方に勤務していただいております。日々の店舗運営に欠かせない存在となっています。

売り場では、お客様とシルバーの皆さんとの間に「今日は寒いなあ」とか「元気にしとった？」といった何気ないやり取りが交わされ、買い物の場が温かい雰囲気に包まれています。

そうした交流は、お客様に安心感を与え、地域のお店としての役割を改めて実感させてくれます。

また、どの方も一つひとつの仕事を丁寧に、責任を持って取り組んでくださり、私たちは日々大きな支えをいただいております。

地域に根ざし、信頼関係を大切にしながら働いてこられたからこそ、「安心して任せられる存在」として評価されているのだと感じています。

これからも、お体に気をつけて無理のない範囲でご活躍いただきながら、シルバー人材センターのますますのご発展と、そこで働く皆さまのご健康を心よりお祈り申し上げます。

発注者からのメッセージ



南岡 幸生
憩いの湯

姫路市シルバー人材センター設立50周年を迎えられたこと心よりお祝いを申し上げます。

私共は当地において65年公衆浴場を営んでまいりました。30年前に改築し現在の憩いの湯として営業しております。シルバー人材センター様とのお付き合いのきっかけは約3年前清掃スタッフの人手不足で新聞に広告チラシなどを入れ募集しましたがなかなか集まらずそんな時シルバー様に相談に伺いました。

お風呂の清掃は大変なのでなかなかむずかしいと思いましたが、しかし今では3人のシルバー会員様が生き生きと元気いっぱい頑張っておられ相談に伺って本当に良かったと思っております。これからまだまだ高齢化社会、人手不足が進んでいく中でシルバー人材センター様の役割がますます大きく大切なものに必ずなっていくと思います。

今後益々の発展と会員の皆様のさらなるご活躍を心より願っております。



釣 雅典
株式会社姫路シティFM21
代表取締役社長
(FMゲンキ)

姫路市シルバー人材センター設立五十周年、心よりお祝いを申し上げます。長きにわたり地域の暮らしを支えてこられた皆様のご尽力に、深い敬意と感謝の気持ちでいっぱいです。

センターが展開されている相手の心に寄り添って悩みを聞く傾聴サービスやフレイル予防のための健康教室などの取組は、現代社会を生き抜くための大切な支えとなっており、その真摯な姿勢に心より敬意を表します。

FMゲンキは防災情報拠点として、市民の皆様の安全を守る役割を担っており、日頃の防災情報の提供という場面におきまして皆様の幅広い人材ネットワークとの連携にも大きな期待を寄せています。

また、当社が発行しています情報誌のポスティング業務でも温かいお力添えに感謝しております。

これからも地域を結ぶ仲間として、共に歩んでまいりたいと願っております。

発注者からのメッセージ



兼田 里美
会長
有限会社ケンソー

創立50周年おめでとうございます。当社は主に床用ワックスを主とする清掃用器材の販売と、それに伴う清掃作業の指導と請負を業務として、45年間営業してまいりました。創業直後、一年半で事業主の主人が倒れ、迷いながらも主人の社会復帰までは…と続けていましたが、その間、シルバー人材センターの方達が、人手を探して斡旋して下さるだけでなく、多岐にわたって相談にのって下さり、本当に心強かったです。地獄で仏の心境でした。当社で会員さんにして戴く仕事は、主に日常の清掃業務と飲食場での周辺作業です。一人現場が多く、担当者個人の気遣いや心配りが周囲の雰囲気を変える大事な仕事ですから、長年の生活体験があるシルバーの会員さんにはぴったりの仕事で、82歳(私と同年)を筆頭に全員70歳代で、本当に頑張ってもらっています。人手不足から機械化が進んでも、手仕事に近い仕事は残ります。残された仕事と残った人生を重ねて、大切に生きてもらいたいです。そのためにもセンターの皆様のご支援をよろしくお願い致します。



興地 逸郎
徳號寺住職

姫路市シルバー人材センター様の創立50周年を心よりお祝い申し上げます。私が住職としてお預かりしている徳號寺は家島の真浦にある真宗大谷派のお寺です。約400年の歴史があり、春と秋には彼岸会法要、夏には盂蘭盆会、冬には報恩講とそれぞれの季節に大きな法要が勤められ、地域や島外の門徒さんと共に聞法の間を大切に相続してきました。

シルバー人材センター様には毎年秋の彼岸会法要の前にお寺の草刈りに入って頂いております。敷地が広いので、普段はなかなか出来ないのですが、島に住んでおられるシルバー会員様が作業前の下見から当日の実施、また作業実施後の確認作業まで熱心に携わって下さり、その懇切丁寧な仕事ぶりにはいつも感嘆させられております。

また大きな法要の際には、交通整理などにもあたって下さり、過疎化が進み人材確保が難しい現代の田舎のお寺にとっては無くてはならない存在です。

最後になりましたが、姫路市シルバー人材センター様の益々のご発展と会員の皆様のご活躍を心から応援しています。

発注者からのメッセージ



田村 和久

日本化薬株式会社
セイフティシステムズ事業部
事業統括部 事業管理部
総務グループ

姫路市シルバー人材センター創立50周年、誠におめでとうございます。
当社は姫路市豊富町に工場を構え、ダイナマイトに使用される雷管の製造を振り出しに、現在はその技術を応用した自動車エアバッグ・シートベルト、ドローン向け安全部品の製造、開発を行っています。

当社では現在12名のシルバー会員様に場内の清掃、作業着の洗濯、場内の草刈りおよび場内の廃棄物運搬業務に携わって頂いております。

皆様大変お元気に勤務頂いており、弊社従業員が快適な環境で仕事に従事できておりますのもシルバー会員様の丁寧な仕事ぶりによるもので、その仕事ぶりは我々従業員も見習わなければならないと感じております。また急な依頼や作業内容の変更についても快くご対応頂き、深く感謝致しております。

今後もシルバー会員様のお力が必要になって参りますので、何卒宜しくお願い致します。

最後に姫路市シルバー人材センター様の益々の発展および会員様のさらなるご活躍を祈念致します。



山本 勉

株式会社姫科エンジニアリング
工場長

姫路市シルバー人材センター創立50周年おめでとうございます。

当社は、環境保全向け装置のモノづくり企業として、水処理装置の開発・設計・製造を手がけています。

シルバー人材センター様とのお付き合いも20年近くと古くなり、現在5名の会員様に来ていただいております。元気に活躍されています。在籍期間が長い方が多く、なかには15年勤務された方もいらっしゃいました。皆様には工場の製造業務としての組立・検査補助から梱包・出荷作業に至るまでの幅広い業務をお手伝いいただいております。

皆さんはこれまで長年培われてきた経験・知識・技術がありますので、私たち社員も安心して作業を任せることができ、逆に教わることも多くあり、本当に頼りにしております。

今後もシルバー会員様のお力が必要となり、皆様が安心して活躍して頂ける職場環境を整えてまいりますので、引き続きお力をお貸し頂きますようお願いいたします。

最後に姫路市シルバー人材センター様の益々のご発展と会員の皆様のご活躍を心からお祈り申し上げます。

Members' voices

会員の声

Members' voices

1 私達はまだ、必要とされています。 大河内 武司

シルバー人材センターにお世話になりまして、身体も老化も感じつつ、はや6年が過ぎました。以前、時の所長に「何にも、しとへんのやったら、草刈りしてくれへんか？」このことがシルバー人材センターに入会するきっかけになりました。

できるかな？最初は不安もありましたが、今では良い仲間恵まれ、自主（自分のものとして考える）、自立（自分たちの力で育てる）、共働（力を合わせて働く）、共助（お互い助け合う）、のスローガンのもと、草刈り作業をはじめ、屋外作業をやらせてもらっています。

屋外の作業をしていると、今抱えている日本の少子高齢化問題を直に感じます。

依頼主のほとんどの方が「もう年で草刈も草引きも

出来ない」「頼む人がいない、誰もしてくれない」「シルバーさんしかいない、頼りにしています」…と聞きます。私達はまだまだ、必要な人材だと実感します。

知り合いから「仕事があつてええなあ？」…と言われます。その都度、シルバーに入会したら、と薦めませんが、なかなか決心がつかない様で、暑い日は「無理せんときよ」と、寄り合つて、声掛けあつて屋外作業をしている現場の姿を見て欲しいものです。案ずるより産むが易し…、つてところですかね。

静かに夜は明け、希望の朝が来ます。晴れの日もあります、雨の日も、風の日もあります。昼は努力に生き、夜は感謝を胸に眠る。

人との出会いに感謝し、心をのせて。ありがとう…。

Members' voices

2 生涯現役を目指して 下野 憲司

姫路市シルバー人材センター設立50周年おめでとうございます。私、今年年男で84歳。生涯現役を目指し姫路市シルバー人材センターに67歳で入会17年目になります。最初の仕事は漬物会社で半屋外、冷暖房無し下で漬物を作る際出る野菜クズを1日200~300回（10数キロ/1回）繰り返し破碎機に投入処理する作業で、しんどさと真冬の寒さは大変でした。この仕事を約10年半勤めましたがこの間相方は3人辞めました。

退職数か月後現在の仕事、スーパーマーケットで

の商品の荷卸し、運搬、仕分け、空ケース、段ボール等の片付け作業に従事しています。作業は屋内冷暖房下の一人作業で週3~4日朝4時から9時の5時間、1年の内正月の1、2日のみ休みです。今年7年目で大変働きやすい職場です。

現在のところ健康面に問題もないので許される限り1日でも長く働き、趣味（ゴルフ、山歩き、囲碁、詩吟、家庭菜園等）を楽しみたいと思っています。又、姫路城マラソン5kmに今年も参加予定で第1回目（72歳）から連続11回目の出場です。

Members' voices

3 言葉の大切さ 福田 雅子

創立50周年おめでとうございます。昭和・平成・令和と半世紀に渡り先輩方の誠実な仕事に信用と信頼を得られて今日があり、私もその一員として令和三年五月より会員となり、清掃などの仕事で充実した毎日を過ごしています。

夫も会員とともに頑張っています。そのおかげで共通の話題もあり仕事の内容も理解してくれて、私が仕事から帰ると「おかえり、どうやった大丈夫やったか。」などの言葉をかけてくれその日の仕事の反省をしたりうれしかったことを共有し明日への活力

としています。

就業先が変われば仕事の内容も清掃道具も変わり時間内の完了に効率よく丁寧心がけています。四年程度の就労時で大事に思うのは、あいさつの言葉です。「こんにちは、お願いします、お疲れ様、ありがとうございます。」気持ち切り替わります。センターの担当の職員の方に相談やアドバイスをしてもらいサポートしていただき、楽しんで元気で働ける事に感謝しています。

4

私見ではございますが

藤井 正行

皆さんこんにちは。私はシルバー会員五年になる70歳の男性です。清掃作業に従事しており、毎日充実した日々を送ることができています。今思い返すと、シルバー人材センターを選んだ理由は、友人がすでにシルバーとして仕事をしていたことや、高齢者でも出来る楽な作業で尚且つ、生活費の足しに出来るだろうと、甘い考えで入会しました。

そして初日を迎え、想像以上のしんどい作業内容に心が折れかけましたが、石の上にも3年という言葉と思いつつ、先輩方に指導して頂きながら、がむしゃらに働き、へとへとになり帰宅したのが初日の相い出です。その後は筋肉痛になりながら2ヶ月位続きましたが、

徐々に体力もつく様になり、今では後輩の方々に指導する立場になり、目標にして頂ければ幸いです。そして仕事を続けていく中で、シルバー会員の心得である「自主、自立、共働、共助」の理念が身にしみて理解できるようになりました。長々と私事を書きましたが、このすばらしい労働環境を提供して頂いたシルバー人材センターにはとても感謝しており、五十周年という節目を迎える事が出来たのは、先人の方々の多大なる苦勞の積み重ねがあればこそ成し得た事と受け止め、敬意をもって、お礼申し上げたいと思います。

お付き合い頂きありがとうございますございました。

5

早いもので「もう5年、早5年」

船津 章

シルバー人材センター創立50周年おめでとうございます。家島連絡所所長として6年～7年もの間、勤めてきましたが、初めは右も左もわからず苦勞もりましたが、1ヶ月、2ヶ月と過ぎるごとに少しずつですが、わかってくると、やり甲斐があることに気づきました。

私よりも会員さんの年が上の方ばかりなのですが、皆様気遣ってくださり、協力して下さり大変助かりました。それから1年、2年が過ぎて、あっという間に6～7年がたち、定年を迎える年に成りました。

本部の人たち、各連絡所の所長とも交流をかねての飲み会なども何回か行い、楽しい思い出に成りました。やっている時は暑い、辛い思いもありましたが過ぎた時間は早いものです…

定年すると、これでゆっくり出来ると思っていましたが、本部の上司から「会員になって下さいよ」と声をかけられ、いまでは、会員として草刈り、清掃業務、鹿の餌やりなどを行っています。

私の好きな言葉に「異体同心」（それぞれ異なる体を持っているが、心は強く結ばれていること）と言う四字熟語があります。会員一人一人身体はちがうけれど姫路市シルバー人材センターを思う心が同じで有ると言うことです。

最後になりますが、シルバー人材センターが51周年、52周年と末永く続き、100周年、200周年と永久に栄えることを願って50周年のお祝いの言葉とさせていただきます。姫路市シルバー人材センター万歳！万歳！万歳！

6

シルバー人材センターに感謝

星住 洋文

創立50周年おめでとうございます。

私も今年で77歳、体力の衰えを感じる今日この頃です。シルバーでお世話になるきっかけは、以前の会社を早期退職し、主婦をしていました。この間女房には助けられました。感謝しています。女房の知人の紹介でシルバー人材センターの存在を知り、採用に至りました。

現在の職場で14年目になりますが最初は4人で活動していましたが、皆体力の衰えが目立つようになり、今は6人で皆頑張っています。幸い自転車で

15分ぐらいの所にあるので今迄続けてこられたと思います。この歳までがんばってこられたのはシルバー人材センターをはじめ、いろいろな人のお陰と感謝しております。これからもよろしく願います。

生涯現役をめざして

渡邊 秀正

シルバー人材センター創立50周年、誠におめでとうございます。

私は高卒で入社した企業を66才で退職し、ゆっくりしようかなと思っていたところ、シルバー人材センター香寺連絡所長よりお声掛けいただき運よく香寺連絡所長として採用いただくことになりました。

そこから5年間シルバー人材センターの仕事のあり方、また会員とのつきあい方を勉強させていただきました。

その後運よく姫路市立香寺公民館にシルバー人材センター会員として就業し現在に至っております。

シルバー人材センター会員になってからの配分金は家族口座から個人口座に切り替え、ゴルフを今まで以上に楽しむことになりました。

時期を同じくしてシルバー人材センターゴルフ同好会が発足し私も入会させていただき他会員さんとの懇親も深めております。

現在75才になりましたが健康であり体力が続く限り仕事とゴルフを両立させ頑張りたいと思います。

最後になりましたが、シルバー人材センターの職員さんはもちろん、会員さんにお世話になっていることを感謝したいと思います。

働く覚悟

藤本 喜美子

シルバー人材センター創立50周年、おめでとうございます。

息子のすすめで、シルバーの仕事にチャレンジすることにしました。

令和4年2月に会員になり、翌月からお城周辺道路の清掃の就業につきました。自転車で就業先まで25分位かかります。生矢神社の前を通る時、「今日も喜んで進んで働きます!」と誓って、頭を下げます。

美しいお城や樹齢数百年のムクの木が迎えてくれて、私は幸せだと感じています。

先輩方はとても親切に仕事を教えてくださいました。しかし、ある日、1人の先輩に「あなた、この仕事むいてない」とはっきり言われてショックでした。

でも私自身、お城が大好きで仕事内容も好きだったので「がんばるぞ!」と思いました。今、思い返すとフワフワした気持ちを引き締めるために言ってくださったんだと思います。あの厳しい言葉のお陰でしっかりと働く覚悟ができたような気がします。

会員になって4年が過ぎ、5年目に入りました。そして今、新人を迎える側になりました。入会当時の事を思い出し、待つこと、寄り添うこと、信じることをモットーに、これからもがんばります。

最後に年をとっても働く場を提供してくださるシルバー人材センターの方々に、また気長に育ててくださった監督さん、先輩方に感謝します。ありがとうございました。

仲間とともに歩んだ50年

藤田 富士雄

シルバー人材センター50周年、心よりお祝い申し上げます。

私は会員として初めて活動に参加したのは、令和元年10月東夢前団地の作業でした。時期的なこともあり萩のひつつき虫が全身にくっつく洗礼を受けたことを今でも鮮明に覚えています。

それ以来、働くことの喜びと、人とのつながりの大切さを改めて感じてきました。仕事を通じて出会う仲間との会話や、依頼者からの「きれいにしてくれてありがとう」の感謝の言葉は、日々の元気の源になっています。

年齢を重ねても社会と関わり、自分の力を必要としてもらえることは、何よりの生きがいです。センターは、私たちに新しい役割と居場所を与えてくれる大切な存在です。これまで築かれてきた50年のあゆみに感謝するとともにこれからも、健康と安全第一で仲間と助け合いながら地域に貢献していきたいと思います。シルバー人材センターが今後も多くの人にとって希望の場であり続けることと、次の世代へと輪を広げていかれることを期待し、会員の一人としてお祝いの言葉と致します。

草刈安全講習会



事務局より

センターでは、草刈業務に係る技能や安全知識の高揚を図るため、毎年安全講習会を開催しており、今年度は、令和7年12月4日に手柄山交流ステーション研修室で行われ、日頃から草刈業務に携わる会員67名の参加がありました。

普段草刈作業に従事している会員さんに向けて、草刈機を安全に使い、事故のない就業をするための講習会を行いました。(株)こてら商店の小寺講師より、ビデオ、テキストを中心に、草刈機の安全な使用方法、防護ネット、刈刃の使い分け、刈刃の回転数など安全対策を学びました。

事故を減らすには、事前準備、就業前ミーティング、安全用具の着用などを再認識しました。

また、草刈安全対策について意見交換を行い活発な意見が多数でした。

草刈作業は、安全第一です。事故は自分のため、家族のため、周りの人のために絶対に起こしてはなりません。来年こそ事故件数のゼロを目指して会員と事務局が一体となって、安全対策に取り組むよう決意を新たにしました。

植木剪定安全講習会



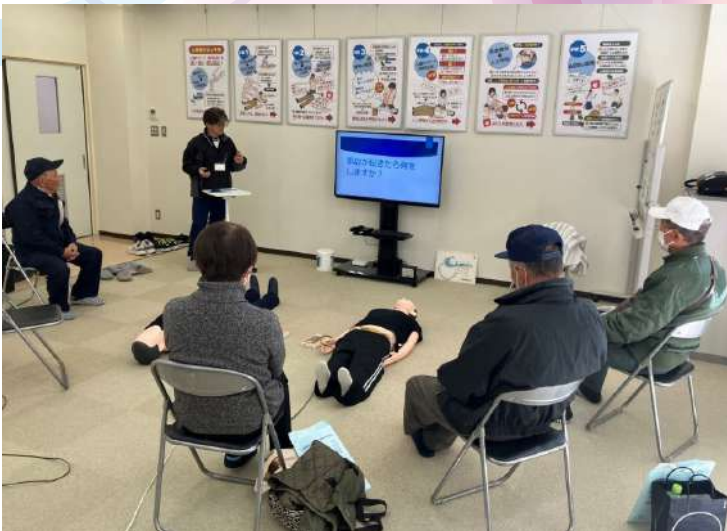
植木剪定会員一同より

姫路市シルバー人材センター創立 50 周年誠にありがとうございます。

私を始め姫路市シルバー人材センターでの植木剪定をさせて頂く一人として心よりお祝い申し上げます。入会后剪定の先輩方やプロの植木屋さんからの勉強講習会や姫路城の松の剪定など色々な皆様方にご指導頂く機会を与えて頂き誠に感謝致しております。またご依頼宅での作業後に「綺麗にして頂き気持ち良くなりました。お願いして良かった有難うございました」とのお言葉が最高の勲章と生きがいになっております。今後も技術向上への努力と、皆様への感謝と更にお依頼先の皆様喜んでいただける様に努力を致します。安全作業を心がけ健康に注意して頑張っております。

今後も姫路市シルバー人材センターの益々のご発展をお祈りし、50 周年のお祝いの言葉とさせて頂きます。

自動車安全運転講習会



山崎 正悦会員より

この度、毎年恒例のシルバー人材センターの自動車安全講習会が開催されたので、参加しました。兵庫県自動車学校姫路校で開催され、座学講習と実技講習が行われました。

座学講習では講師による交通安全の講話を受講し、実技講習では自動車だけでなく自転車のシミュレーターでの講習や、事故発生時の負傷者の救護措置の講習を受講し、その後、自動車学校内のコース上で教習車に分乗して安全運転の実技講習と適性検査も受講しました。今回の実技講習ではタコツボコースと呼ばれる閉所での自動車の取り回し講習も行われました。講習の最後には自動車学校から各参加者への講評もあり、今後の安全運転に役立つものでした。

また、コース上で市内の自動車販売店による最新の電気自動車の体験試乗会も開催され、参加者で試乗してブレーキアシスト機能を体験しました。

自分もこの六月で運転免許証の有効期限が切れるのですが、良い勉強になりまして喜んでます。

料理教室



職員 田口 悦子より

当センターの料理教室は、シルバー人材センターに登録された会員の皆さまが、高齢者家庭や共働き家庭などへの家事支援で安心して活動できるよう、料理のスキルアップを目的に開催しています。

講師には、姫路市在住で料理だけでなく音楽活動等幅広く活動されている方にご依頼し会員の皆様を楽しめる教室を目指しています。難しい料理ではなく、限られた食材で手早く作れる時短メニューを中心に学べると大変好評です。教室では、家庭でよく使う食材を組み合わせた、簡単レシピのほか、盛り付けの工夫で見栄えを良くする方法や、ワンプレートで手軽に仕上げるコツなど、実務に直結する内容を丁寧に指導していただいています。受講者同士の交流も活発で、「現場で活かせる」「家でも作りやすい」と言った声が寄せられています。

今後も、料理教室が、健康づくりと交流の場として、多くの方に親しまれることを願っています。

安全パトロール
(安全・適正就業事業)



事務局より

当センターでは、毎月一回安全パトロールを実施しています。

このパトロールは、就業会員の皆さまの安全意識の向上を図ることを目的として当センター安全・適正就業部会が開催しており、事故件数の多い職種や直近に事故を起こした会員が就業している現場を重点的に巡回しています。

当センター事務局役職員と安全・適正就業会の担当理事及び部会員でパトロール班を編成し、会員の皆さまが就業中の現場を訪問し、就業中の各会員の皆さまに対して事故の発生傾向や当該業務における安全確保、行き帰り他の交通事故に対する安全確保のポイントなどを伝えて注意喚起を行っています。また、パトロール時に安全上の改善点が見られる場合、その場で改善をお願いしたり、事後に書面での改善依頼を行うことで、会員の皆さまの安全意識の向上を図っています。

就業会員の皆様におかれては、当センターが隔月で発行している安全だよりもお読みいただき、今後とも安全就業に努めていただきますよう、お願いします。

姫路城一斉清掃

(ボランティア事業)



事務局より

年末恒例行事、姫路愛城会が主催する「姫路城一斉清掃」に毎年参加しています。世界遺産である姫路城周辺の清掃に携わることができ、大変意義深い時間となりました。

今年度は12月14日(日)の朝から、冬の澄んだ空気の中で姫路市シルバー人材センターの会員・職員14名が協力しながら除草作業や落葉の収集作業に取り組みました。

普段は観光で賑わう姫路城周辺も、目を凝らしてみると細かなゴミや、季節柄落葉も絶えず積もる中での活動となりましたが、丁寧に集めていくことで、景観の美しさは日々の地道な積み重ねによって守られているのだと実感いたしました。清掃後、すっきりと整った光景を目にしたときには大きな達成感があり、地域の誇りである姫路城を守る一助となれたことをうれしく思いました。

今後もこのような活動に積極的に参加し、ふるさとの美しい環境づくりに貢献していきたいと考えています。

姫路城観光ガイド事業
(自主事業)



姫路城シルバー観光ガイド 坂下 照光より

私たち姫路城シルバー観光ガイドは、姫路市の観光の目玉である国宝、世界文化遺産姫路城の素晴らしさをより多くの観光客の皆様を知って頂く為に活動しています。

現在計 37 名のガイドが二つのグループに分かれて一週間交代で姫路城と好古園をご案内しています。

ガイドは日々個人又グループで情報や知識を共有しながら研鑽を重ねどのような質問にもお答え出来るように努力しています。

また、ご案内の際に私たちが特に心がけているのは、お客様の姫路城に関する知識や関心の度合いを最初に確認し、お客様目線で分かりやすく説明することです。良かれと思っつい知識を詰め込みすぎてしまうことの無いように、押し付けにならない案内を大切にしています。

更にお客様に寄り添いながら目に見える姫路城の特徴や美しさや歴史の魅力を分かり易くお伝えし「へえ〜」「そうなんや〜」といった感嘆の声を少しでも多く頂けるよう努めています。

観光客の皆様は姫路城を楽しみ、満足してお帰り頂けるように、これからも心のこもったガイドを続けてまいります。



パソコン及びスマホ訪問指導事業
(提案型事業)



牛尾 護会員より

定年を迎えたとき、私は「これから何をして過ごそうか」と戸惑いを感じていました。長年勤めた仕事から離れ、時間に余裕ができた一方で、社会とのつながりが薄れてしまうのではないかと、不安もありました。そんな中で出会ったのが、シルバー人材センターでした。

入会してまず感じたのは、「年齢を重ねたからこそできる仕事がある」ということです。これまで

培ってきた経験や知識、そして人との接し方が、地域の中で自然と役立っていくことを実感しました。無理のない範囲で働きながら、感謝の言葉をいただけることは、大きなやりがいにつながっています。

また、シルバー人材センターを通じて、多くの仲間と出会えたことも大きな喜びです。同世代だからこそ分かり合えること、励まし合えることがあり、仕事の合間の何気ない会話が日々の楽しみになっています。働くことはもちろん、人との交流が心の健康にもつながっていると感じます。

「まだまだ社会の一員として役に立ちたい」「地域のために何かしたい」という思いを持つ方にとって、シルバー人材センターは新たな一歩を踏み出す場所だと思います。これからも自分のペースを大切にしながら、地域とともに歩んでいきたいと考えています。

設立 50 周年おめでとうございます。

傾聴事業
(提案型事業)



結の会より

シルバー人材センター創立五十周年、心よりお祝い申し上げます。

私たちが歩んできた半生は、終戦という荒廃の中から始まり、高度経済成長の躍動、そしてインターネットやコロナ禍による価値観の大転換へと続く、まさに激動の時代でした。

その変動のただ中で、今、「魂の成熟期」を迎えている私たち。歴史の縦軸に魂の質が問われているこの時に、瀧脇講師をお迎えし傾聴講座を開いてくださったことは大きな意味と意義を持ちました。傾聴とは、ただ聴くということではなく、己れの心の声に耳を澄ませることであり、人の尊さ・愚かさに気づき、自他等を受け入れる準備を整えていく行為でした。

五十周年というこの交差点で、私たち結の会（傾聴0期）は、立ち上がり、一步を踏み出しました。かかわって下さった、全ての方々に心より感謝申し上げるとともに、更なる成熟を祈念いたします。

日帰り研修旅行 (会員親睦事業)

キリンビール工場(神戸)



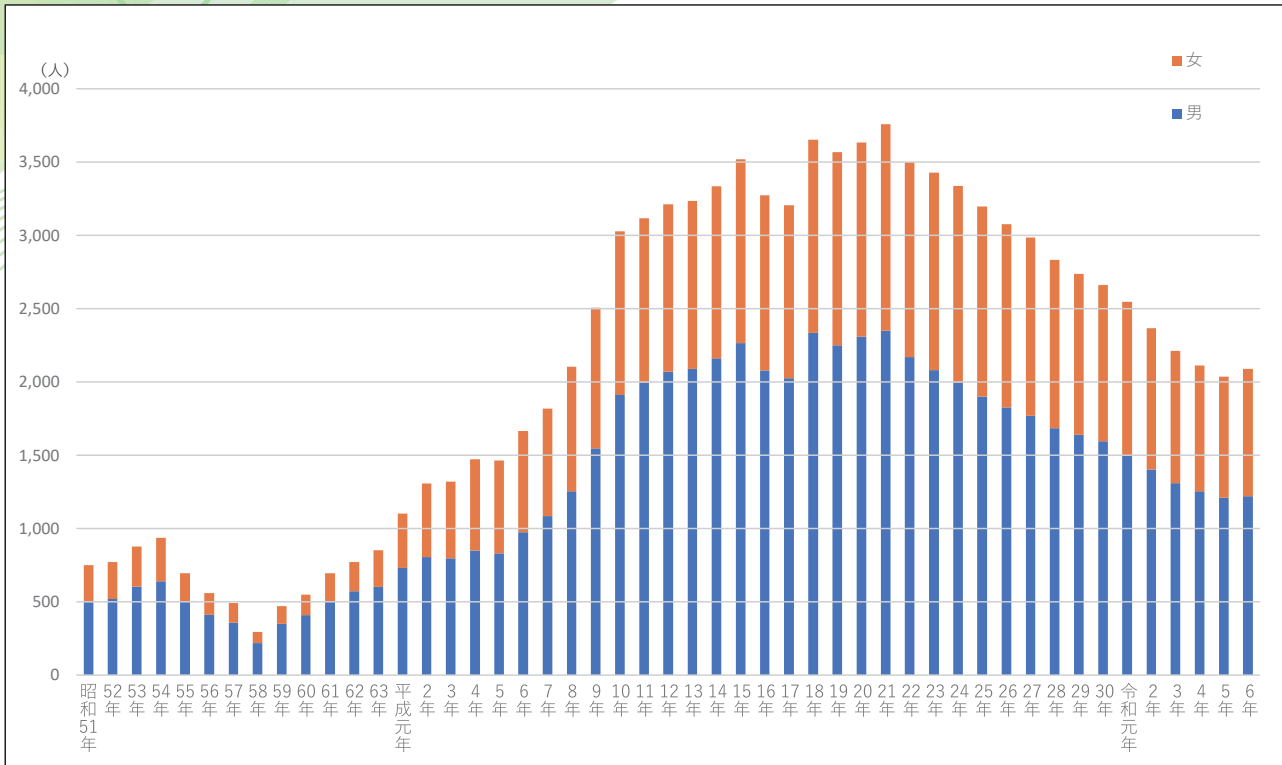
大和郡山城(奈良)



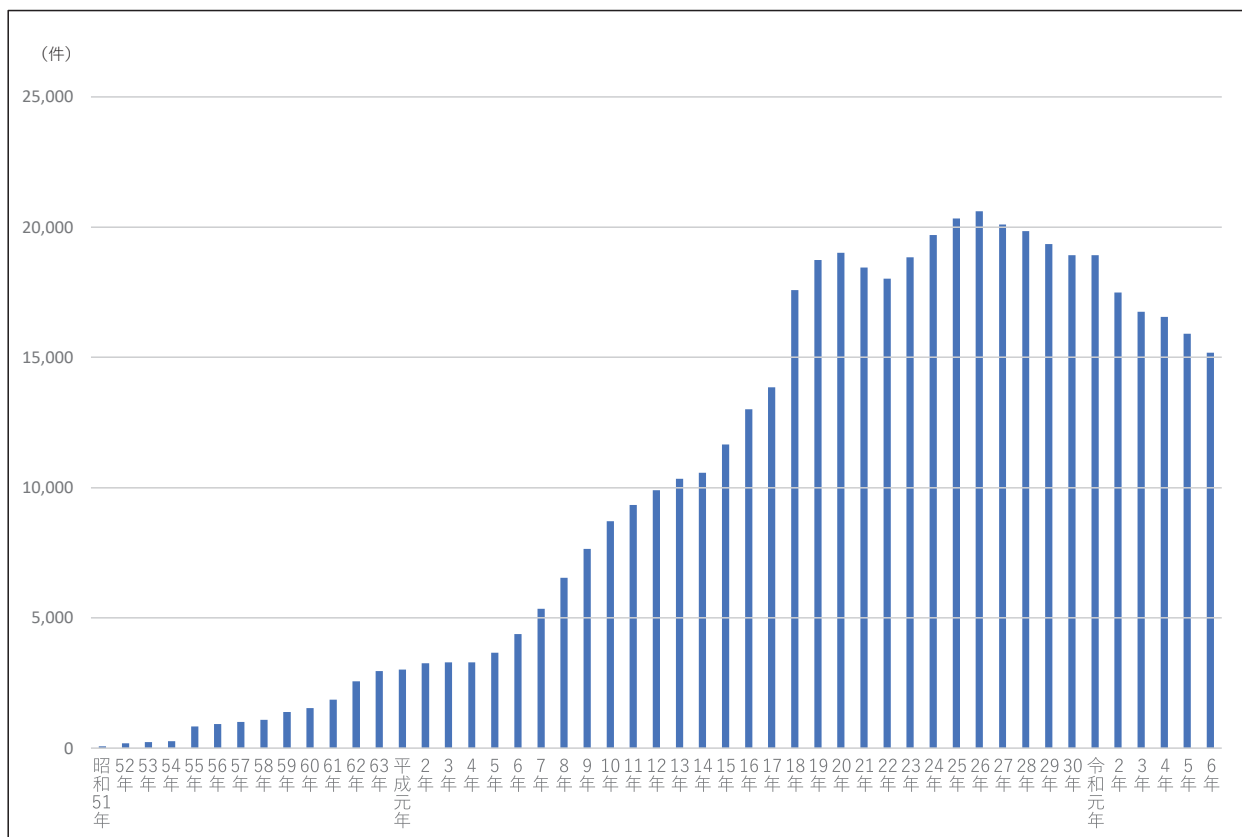
事業実績の推移

年度	会 員 数			就 業 延人員	契約件数	契約金額
	男	女	計			
昭和 51 年	497 ^人	252 ^人	749 ^人	3,574 ^人	75 ^件	8,376,966 ^円
52 年	520	252	772	10,250	185	26,158,627
53 年	604	273	877	16,671	231	46,401,347
54 年	640	296	936	21,862	261	62,012,904
55 年	500	194	694	22,832	834	67,199,381
56 年	412	147	559	25,792	930	79,429,809
57 年	357	133	490	28,537	1,004	85,312,668
58 年	218	77	295	30,356	1,087	98,548,267
59 年	350	120	470	36,294	1,388	139,888,595
60 年	409	140	549	38,523	1,537	159,671,427
61 年	503	191	694	48,757	1,868	197,930,810
62 年	573	199	772	57,129	2,564	240,718,317
63 年	602	250	852	66,060	2,955	290,224,248
平成元年	730	372	1,102	73,709	3,015	326,152,135
2 年	805	502	1,307	76,173	3,263	358,980,198
3 年	797	523	1,320	78,778	3,293	376,871,556
4 年	849	623	1,472	80,327	3,284	395,873,127
5 年	830	634	1,464	90,466	3,670	455,417,104
6 年	974	691	1,665	100,692	4,379	503,510,275
7 年	1,083	734	1,817	111,190	5,344	566,788,643
8 年	1,255	849	2,104	131,463	6,542	688,192,721
9 年	1,547	959	2,506	149,888	7,646	821,199,915
10 年	1,910	1,117	3,027	164,803	8,710	857,469,346
11 年	1,996	1,120	3,116	175,298	9,339	884,758,780
12 年	2,069	1,143	3,212	188,587	9,897	941,780,235
13 年	2,088	1,147	3,235	199,776	10,348	990,568,528
14 年	2,162	1,173	3,335	209,065	10,578	1,019,741,964
15 年	2,264	1,256	3,520	225,409	11,661	1,089,164,428
16 年	2,078	1,197	3,275	264,374	13,011	1,211,957,160
17 年	2,024	1,182	3,206	278,802	13,857	1,260,156,979
18 年	2,335	1,318	3,653	350,704	17,577	1,672,388,775
19 年	2,251	1,317	3,568	369,783	18,741	1,740,931,494
20 年	2,309	1,326	3,635	368,939	19,019	1,718,813,643
21 年	2,351	1,407	3,758	333,989	18,455	1,547,657,168
22 年	2,168	1,332	3,500	317,885	18,031	1,515,201,599
23 年	2,081	1,348	3,429	319,900	18,848	1,517,849,863
24 年	1,996	1,340	3,336	328,271	19,703	1,508,980,190
25 年	1,899	1,298	3,197	332,457	20,335	1,558,844,634
26 年	1,826	1,252	3,078	332,003	20,608	1,620,787,091
27 年	1,770	1,214	2,984	330,526	20,102	1,618,099,127
28 年	1,683	1,149	2,832	323,357	19,853	1,577,639,969
29 年	1,640	1,097	2,737	312,485	19,357	1,539,861,403
30 年	1,595	1,066	2,661	302,426	18,922	1,520,140,676
令和元年	1,501	1,046	2,547	301,458	18,921	1,564,508,199
2 年	1,402	964	2,366	267,397	17,492	1,400,865,507
3 年	1,308	904	2,212	257,438	16,758	1,353,917,124
4 年	1,253	860	2,113	248,470	16,559	1,332,647,954
5 年	1,211	825	2,036	236,569	15,909	1,307,419,847
6 年	1,220	869	2,089	229,891	15,181	1,331,623,114

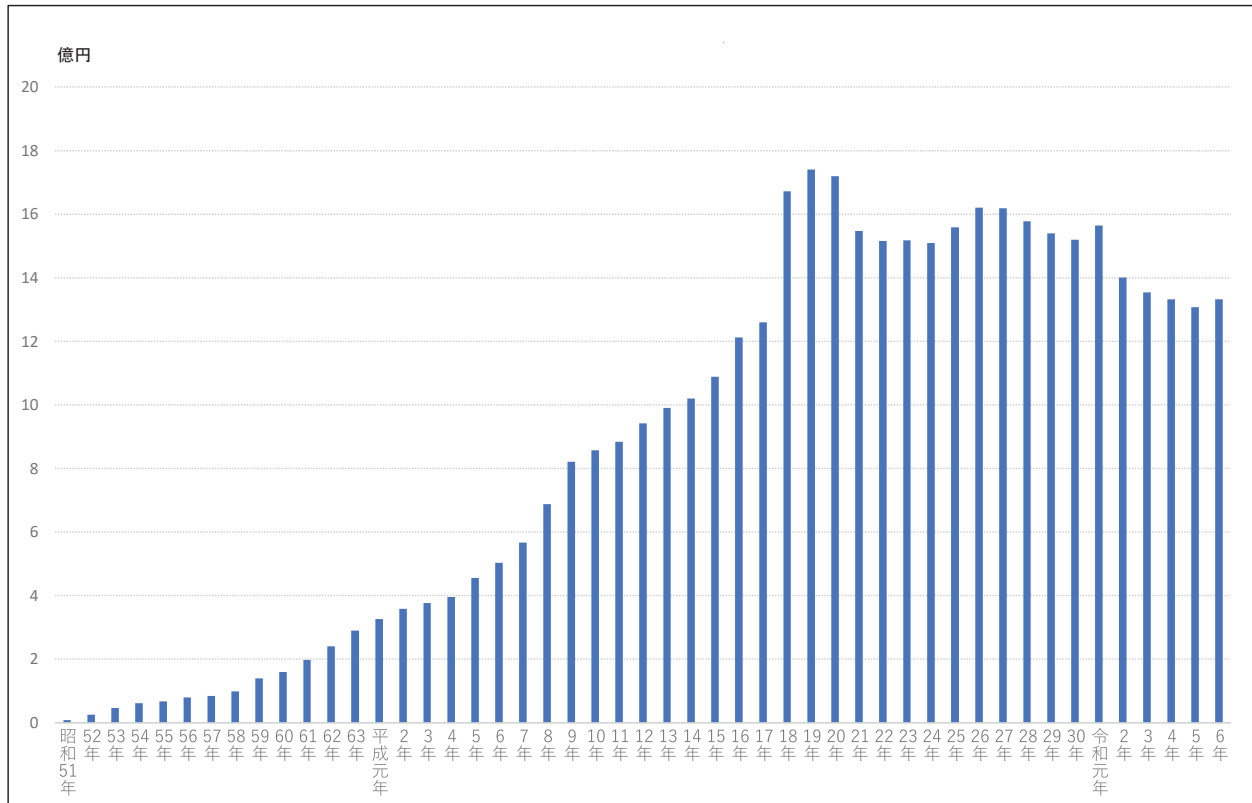
会員数の推移



契約件数の推移



契約金額の推移



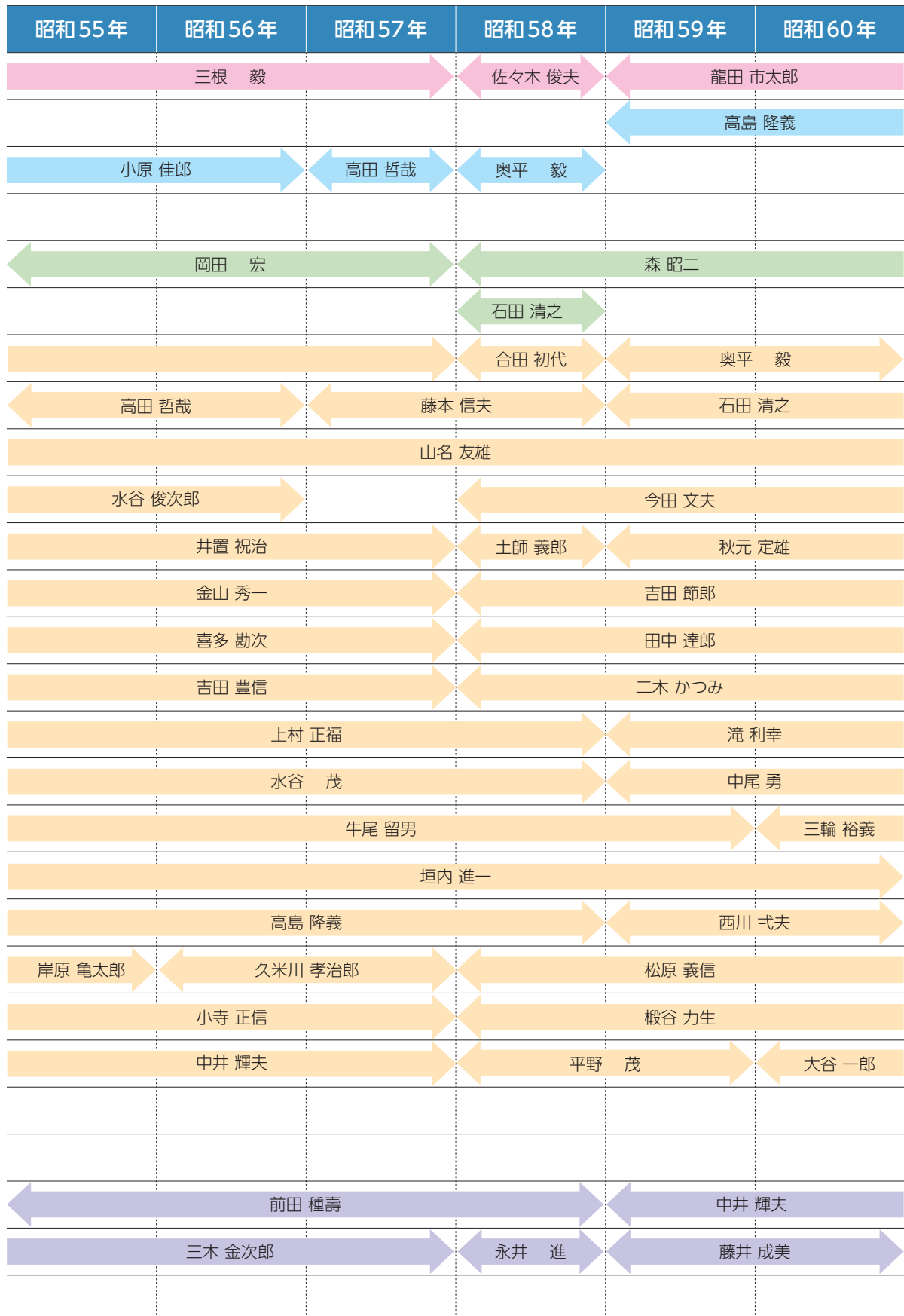
令和7年度 全国シルバー人材センターランキング（会員数）

(2025年12月)

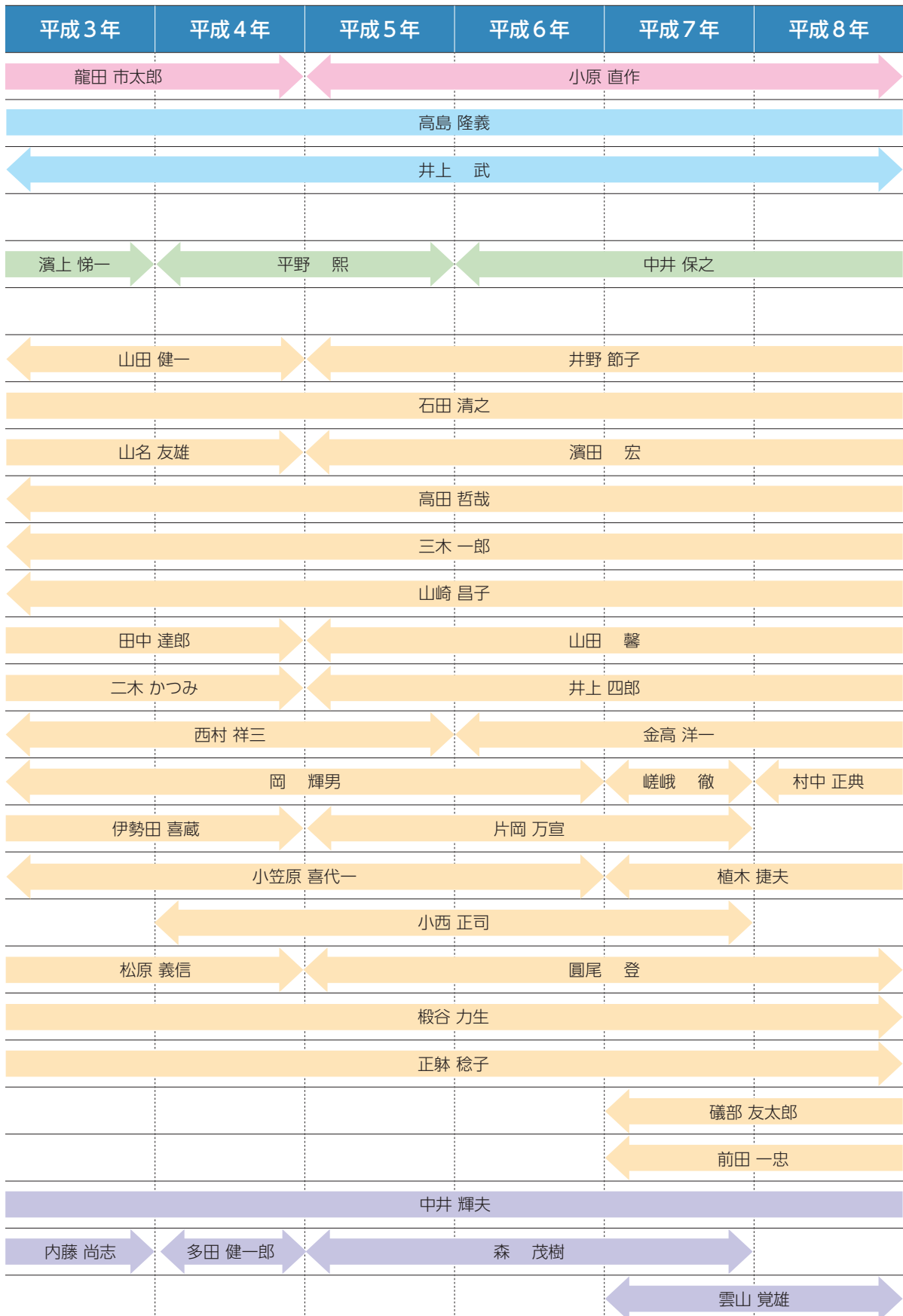
センター名	会員数(人)			センター名	会員数(人)		
	男性	女性	全体		男性	女性	全体
1 堺市	3,256	2,002	5,258	21 八王子市	1,889	813	2,702
2 さいたま市	3,060	1,753	4,813	22 熊本市	1,697	896	2,593
3 鹿児島市	2,359	1,785	4,144	23 杉並区	1,511	1,079	2,591
4 川崎市（中部）	2,581	1,339	3,920	24 藤沢市	1,910	651	2,561
5 福岡市	2,114	1,660	3,774	25 大阪市（南部）	1,524	1,012	2,536
6 江戸川区	2,309	1,401	3,710	26 江東区	1,455	949	2,404
7 練馬区	2,174	1,375	3,560	27 大阪市（西部）	1,493	862	2,355
8 横浜市（南）	1,974	1,358	3,332	28 神戸市（東中部）	1,283	1,061	2,344
9 足立区	2,029	1,182	3,211	29 西宮市	1,468	850	2,336
10 福岡市（東南部）	1,919	1,270	3,189	30 千葉市	1,555	756	2,311
11 板橋区	1,833	1,290	3,123	31 名古屋市（東部）	1,427	839	2,283
12 川崎市（南部）	1,862	1,235	3,097	32 仙台市	1,410	860	2,270
13 大田区	1,736	1,311	3,047	33 横浜市（緑）	1,428	817	2,245
14 葛飾区	1,958	1,018	2,976	34 川越市	1,529	715	2,244
15 広島市	1,691	1,247	2,938	35 府中市	1,421	813	2,234
16 町田市	1,832	1,037	2,869	36 豊橋市	1,230	1,004	2,234
17 浜松市	1,660	1,176	2,840	37 北区	1,271	957	2,228
18 横浜市（神奈川）	1,713	1,084	2,797	38 吹田市	1,446	756	2,202
19 長岡市	1,630	1,165	2,795	39 草加市	1,294	904	2,198
20 伊丹市	1,419	1,332	2,751	40 姫路市	1,244	920	2,164

歴代役員

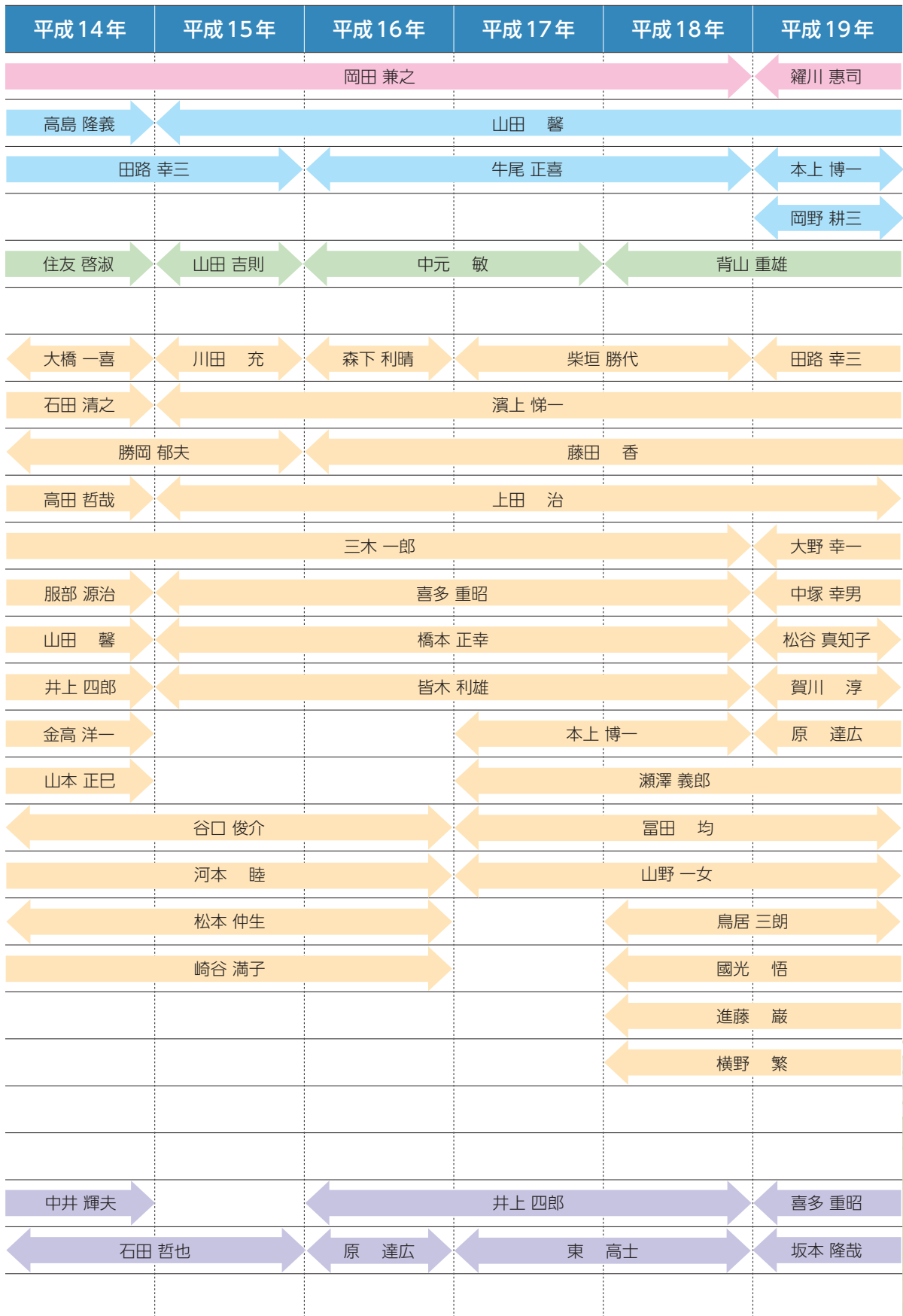
役職名	昭和50年	昭和51年	昭和52年	昭和53年	昭和54年	
理事長	山名 友雄		三根 毅			
副理事長	三根 毅		山名 友雄			
				小原 佳郎		
常務理事	高馬 市夫				福田 清志	
	石田 高義	岸原 亀太郎				
理事	佐々木 俊夫					
	小原 佳郎			酒見 貢		
	中井 猛夏				山名 友雄	
	水谷 俊次郎					
	井置 祝治					
	金山 秀一					
	喜多 勘次					
	吉田 豊信					
	上村 正福					
	水谷 茂					
	牛尾 留男					
	垣内 進一					
					高島 隆義	
					岸原 亀太郎	
					小寺 正信	
				中井 輝夫		
監事	木村 義雄	井上 進				
	田中 長太郎	三木 金次郎				



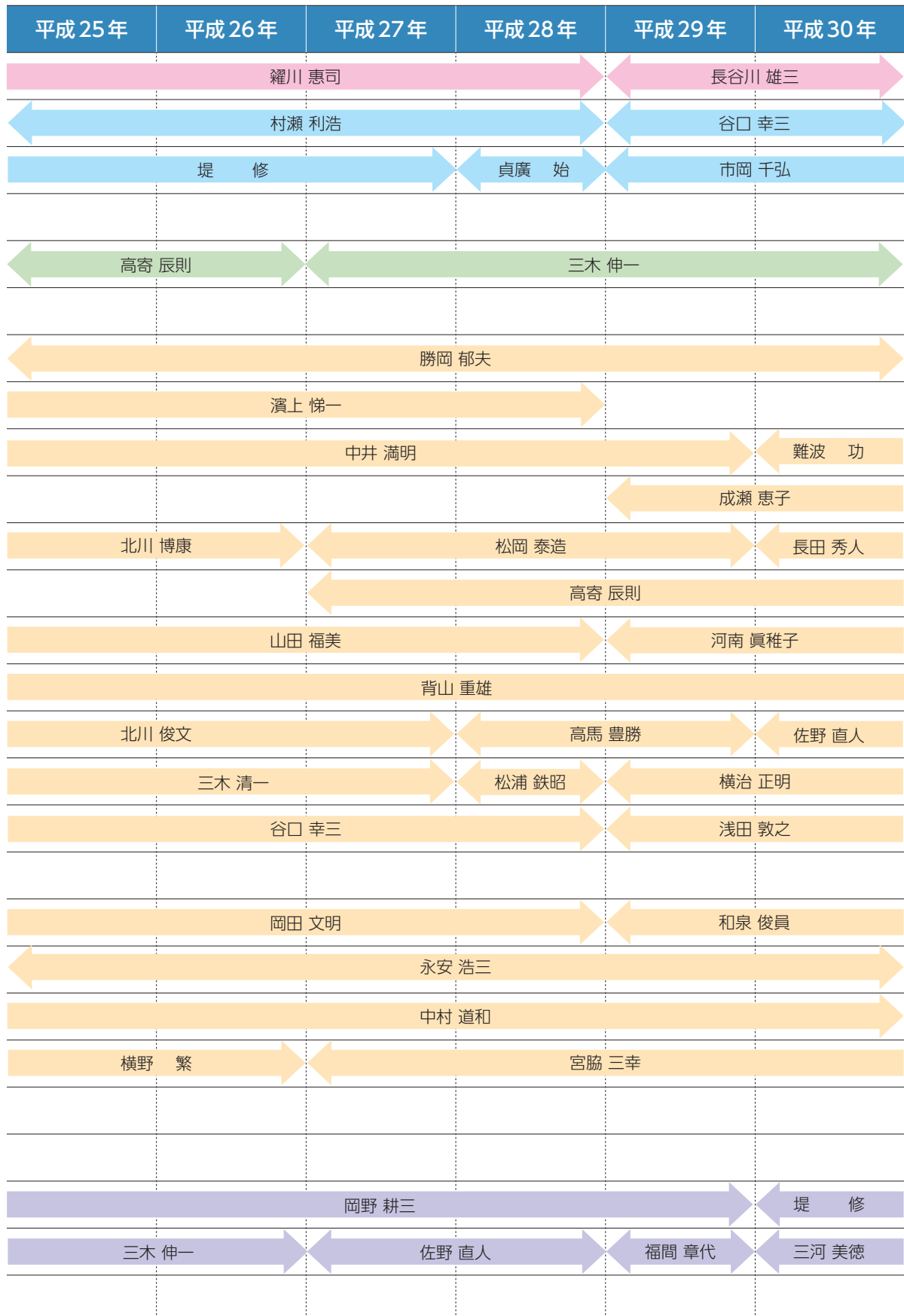
役職名	昭和61年	昭和62年	昭和63年	平成元年	平成2年	
理事長	龍田 市太郎					
副理事長	高島 隆義					
	奥平 毅	三木 一郎		赤松 實信		
常務理事	森 昭二		濱上 悌一			
理事	福島 正夫					
	石田 清之					
	山名 友雄					
	今田 文夫					
	秋元 定雄					
	吉田 節郎					
	田中 達郎					
	二木 かつみ					
	滝 利幸					
	中尾 勇					
	三輪 裕義	伊勢田 喜蔵				
	岡田 正雄	北 盛夫	阿部 一祐			
	山田 健一	奥平 毅	橘 保夫			
	松原 義信					
	榎谷 力生					
	大谷 一郎			正躰 稔子		
	監事	中井 輝夫				
沖端 善一郎		森脇 賢治		内藤 尚志		



役職名	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年
理事長	岡田 兼之				
副理事長	高島 隆義				
	阿部 正典	佐伯 保	濱上 悌一	田路 幸三	
常務理事	中井 保之	三木 一児			住友 啓淑
理事	井野 節子		平山 昇司		池田 宏
	石田 清之				
	濱田 宏			岩成 孝	
	高田 哲哉				
	三木 一郎				
	山崎 昌子			服部 源治	
	山田 馨				
	井上 四郎				
	金高 洋一				
	村中 正典			山本 正巳	
	井上 武				
	植木 捷夫		山本 義信		河本 睦
	藤井 隆文				
	崎谷 満子				
				山中 幹雄	
	磯部 友太郎				
	前田 一忠				
監事	中井 輝夫				
	大前 信也				
					森下 利晴



役職名	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	
理事長	糺川 恵司					
副理事長	山田 馨	冨田 均				
	瀧川 吉弘			堤 修		
常務理事	背山 重雄	田中 博			平田 悦造	
理事	田路 幸三					
	濱上 悌一					
	藤田 香	奥西 良行			中井 満明	
	生田 和幸	村瀬 利浩				
	大野 幸一			平石 勝	北川 博康	
	中塚 幸男					
	谷川 初美	清水 貞子		岩 艶子	山田 福美	
	背山 重雄					
	原 達広	石川 宗三	内海 将博		北川 俊文	
	瀬澤 義郎	西本 猛		三木 清一		
	宮下 正			谷口 幸三		
	富士谷 恵津子	三輪 すぎゑ				
	岡田 文明					
	國光 悟					
	進藤 巖			中村 道和		
	横野 繁					
	監事	喜多 重昭			岡野 耕三	
		坂本 隆哉	高寄 辰則	三木 伸一		



役職名	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
理事長	← 高島 隆三郎 →				
副理事長	勝岡 郁夫	← 伊藤 恵介 →			
	市岡 千弘	← 長井 元典 →		← 舟引 隆文 →	
常務理事	← 長谷川 義晃 →			← 福永 安洋 →	
理事	← 勝岡 郁夫 →				貞廣 始
	難波 功				
	成瀬 恵子				
	長田 秀人				
	高寄 辰則				
	河南 眞稚子	← 稲田 恵子 →			
	背山 重雄	← 兵頭 康 →			
	佐野 直人	← 柳田 栄作 →			
	横治 正明				
	浅田 敦之				
	和泉 俊員				
	山口 福夫				
	← 石田 和己 →				山本 茂善
	宮脇 三幸				
	監事	堤 修			
三河 美德		← 西松 洋一郎 →			増田 泰之

令和6年	令和7年
高島 隆三郎	
伊藤 恵介	
舟引 隆文	
福永 安洋	
貞廣 始	
難波 功	阿部 映子
長田 秀人	
高寄 辰則	
兵頭 康	佐藤 千草
大前 晋	
浅田 敦之	
和泉 俊員	
山口 福夫	
山本 茂善	森下 貢
宮脇 三幸	
堤 修	
増田 泰之	山下 哲

姫路市の歴史

- 平成28年(2016) ● 新消防指令センター(新高機能消防指令システム)が運用開始(4月)
シェアサイクル「姫ちゃり」が本格運用開始(7月)
- 平成29年(2017) ● 「銀の馬車道・鉱石の道」が日本遺産に認定(4月)
北部学校給食センター開設(10月)
- 平成30年(2018) ● 坊勢漁港ふれあいプラザ開設(4月)
世界遺産サミット開催(11月)
- 平成31年(2019) ● 新姫路駅南駅前広場完成(3月)
「市制施行130周年記念式典」開催(4月)
総合福祉会館開設(4月)
清元秀泰氏市長就任(4月)
- 令和元年(2019) ● 姫路城・コンウヰ城が姉妹城提携(10月)
- 令和2年(2020) ● 大手前通り(十二所前線以北)再整備事業完了(3月)
- 令和3年(2021) ● アクリエひめじグランドオープン(9月)
南部学校給食センター開設(11月)
- 令和4年(2022) ● 県立はりま姫路総合医療センター(はり姫)開院(5月)
- 令和5年(2023) ● 中央卸売市場(新市場)開場(3月)
こどもの未来健康支援センター「みらいえ」開設(4月)
- 令和6年(2024) ● 「姫路城世界遺産登録30周年記念式典」開催(3月)
姫路城・ヴァヴェル城が姉妹城提携(10月)
- 令和7年(2025) ● 「手柄山中央公園」を「手柄山平和公園」に名称変更(4月)
県立姫路海稜高等学校開校(4月)
姫路城・シェンブルン宮殿が姉妹城提携(5月)
姫路城・プラハ城が姉妹城提携(7月)

編集後記

創 立50周年の節目に記念誌を発刊できましたこと、心より、うれしく思います。1975年に働くしあわせの会が設立され今年度で半世紀を迎えました。40年からの10年を振り返りますと、2度の本部事務所移転、また新型コロナウイルスの流行により社会経済に深刻な影響を及ぼし、社会のあり方や働き方が大きく変化しました。世の中のデジタル化が進みセンターも配分金明細書を紙からクラウドサービスへ電子化し、公式LINEの開設やHPを充実させることができました。

そのような時代の中でも、人と人とのつながりを大切にする温かいセンターであり続けるために、これからも60周年に向けて歩みを進めていきたいと思っております。

制作にあたり、ご多忙の中、原稿をお寄せいただきました皆様方に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。この記念誌が、これまでの歩みを振り返り、未来へ繋がる一助となれば幸いです。

公益社団法人
姫路市シルバー人材センター
創立50周年記念誌



発行日 令和8年(2026年)3月
発行 公益社団法人 姫路市シルバー人材センター
〒670-0932 姫路市下寺町43番地 姫路商工会議所 新館3階
電話 079-226-4100 FAX 079-226-4101
印刷 小野高速印刷株式会社
〒670-0933 兵庫県姫路市平野町62番地
電話 079-281-0008 FAX 079-223-3523

